



# 別海町立西春別小学校 学校だより

## からまつ No.19

平成26年2月17日発行 発行責任者 校長 河原 宣孝

自立した子どもを育てるために

校長 河原 宣孝

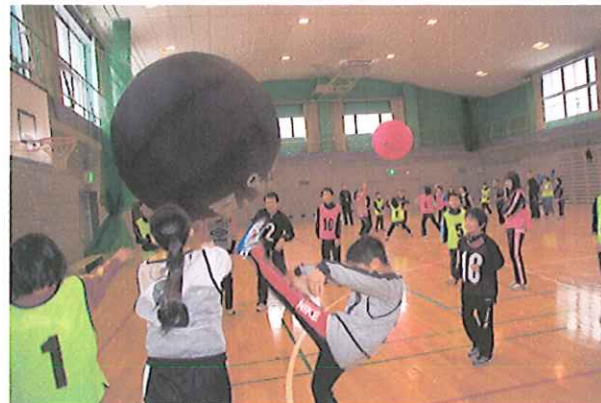
### タイムカプセル

今年度、西春別小学校を卒業した同窓生らからの問い合わせが3件ほどありました。いずれも開校70周年記念事業として全学年が収納したタイムカプセルを開封したいということでした。12年前のことでその当時小学校1年生であれば子どもたちは高校を卒業している年です。成人や帰省で集まりそうだということがきっかけのようです。この記事は通信でも紹介しました。人生を歩む中で振り返る事というのは、自分を見つめる上でとても大切なことだと思います。「過去の自分に会う」というのは恥ずかしくもありますが、社会の荒波の中でもまれている中できっと「自分自身への背中押し」になったに違いありません。

本校では現在卒業アルバムはありませんが、全校写真や学級写真、作文などの作品、関わった職員、1年間の教育活動の様子が掲載された「文集からまつ」を発行しています。来校したOB達に当時のものを見せてあげると、記憶がだんだんよみがえり話は盛り上がっていました。その「からまつ」今年度33号を迎え、今編集作業真っ只中です。

### わずか10年後のこと

訪ねてきたOB達を見ていると、礼儀正しく立派な学生や社会人になっていました。小学校卒業後わずか6年で18歳。8年で成人。そして10年ではほとんど社会人になるのだなあと当たり前のことなのですが、「わずか10年後」というのが引っかけられました。このわずか10年でさえ情

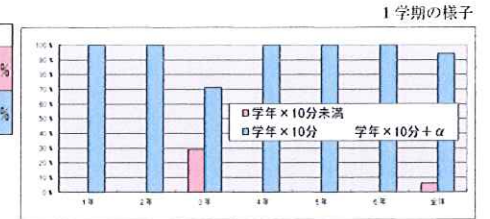
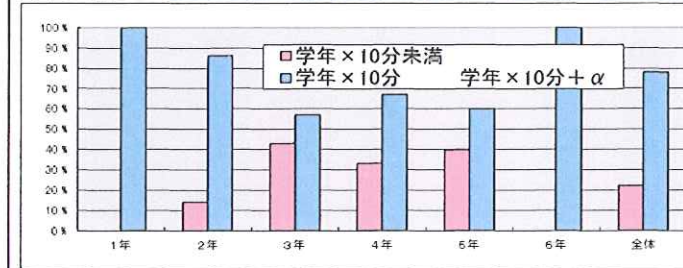


他校との合同授業（本校にて）

報機器の操作性は格段に向上し、小学生でも簡単に世界の情報網の中に入ることができ、そこには手軽さと危険があまりに接近しています。また、就職では多様な雇用形態が進み、正規雇用と非正規雇用の格差が広がっています。これからの10年後はさらに複雑多岐になるのは容易に想像できます。他人事ではなく本校の子どもたちが必ず直面することです。10年後学校や親の手から離れたとき、しっかりと自分の力で未来の社会を生き抜くその力を備えさせている

## 平成25年度 1,2学期を比較した「学校評価」結果 その2

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
学年×10分未満	0%	14%	43%	33%	40%	0%	22%
学年×10分 学年×10分+α	100%	86%	57%	67%	60%	100%	78%



学校評価の結果より、本号では家庭学習の取り組み結果です。これは児童のアンケート結果です。学年×10分以上の学習を行っているのは全体の78%。児童数では27名がやり遂げ、7人がまだ達成していないとしています。学年ではだいたい1~3人になります。

家庭学習の取り組みは、宿題のみ、宿題と自分の課題、自分の課題のみなど使い分けています。1学期は宿題中心として取り組み、2学期は内容を少しずつ児童の自主性を期待した分、少なくなったとの見方が出来ます。理想は、自分の不得意の部分を克服する学習を自分で出来ればいいのですが、その習慣をつけさせたり、自分で課題を見つけられるような指導、そして家庭学習の仕方をしっかりと身につけさせたりすることが今後の課題です。

かと、OB達から言われたような気がしたのです。  
振り返ってみると

どうやって、生きぬく力をつけていくか。大きな命題です。様々な教育活動を通して、確かな学力を身につけさせ、豊かな人間性を育み、健康で体力を備えた子どもの育成を目指していますが、課題はたくさんあります。学校評価等でおおむね良好な評価をいただいておりますが、個に応じた指導については、まだまだ工夫が必要だと感じています。また、保護者の方々の思いを汲み取り、形にしていくことも十分ではなかったと思っています。取り組みを振り返り新年度計画に盛り込むところです。一方で、保護者と共通した取り組みができないかとも考えています。



校内研究授業後の協議

### 「ねえ、ふたあけて」

幼児期の子育ての例ですが、子どもがペットボトルのふたを開けてといったとき、①ふたを全部開けて渡す、②全部開けず硬い部分だけまわして渡す、③硬い部分を残すように少しだけ回してあげて渡す、④自分でやってみてごらん、という自分で出来るように促す例です。小学校でも同様に授業や、生活上の課題を同じような手法を使って、発達段階やその子の状況に応じて使い分けています。ご家庭でも日常生活や家庭学習の取り組み、子どもが困難にぶつかったときなど時と場合に応じて、解決方法を見せてあげる（やって見せる）、解決方法を提示して一緒に行う（解決）する、ところどころ解決方法を考えさせ、行わせ（解決させ）てみる、すべて子どもにさせてみる（見守る）など、ご家庭でも意図的に取り組んでみませんか。

## 学校評議員会 1月29日(水)

学校評議員会が西春別小学校 校長室にて行われました。年度当初たてられた学校経営計画が、学校評価等を行い、どのように学校経営をしてきたかを、評議員の皆さんに説明しご意見を伺いました。

特に、1学期末と2学期末に行われた学校評価の分析と、その結果課題となっている点についての対策、また、全国学力状況調査等の結果などを踏まえ、年度後半に作成した「学校改善プラン」の説明などを通して、たくさんのご意見をいただきました。貴重なご意見は、年度末反省そして新年度計画に反映させていきます。

## スケートリンク記録会大活躍 1月30日(木)

2週間にわたってスケート学習を取り組んできた集大成としてスケート記録会が行われました。たくさんの保護者の皆さんが駆けつけ、「がんばれー」の声援をいただきながら、1年生100M、2年生200M、3年生以上500Mを滑り、自分の記録を超える目標をたて滑りきりました。また、挑戦部門として、1年生200M、2年生500M、3年生以上1000Mの希望者競技も行われました。多くの児童が自己記録を塗り替えています。

また、2名の大会新記録が出ました。

1年生 引地 奏太君 平成23年の記録を塗り替え大会新(男子100M 16秒38)

3年生 引地 朔野君 昭和58年の記録を塗り替え大会新(男子500M 57秒62)

リンク整備をしていただいた皆さんに感謝をこめて、一生懸命取り組みました。



## 節分集会 2月3日(月)

日本の伝統行事「節分」にちなんで、児童会が節分集会を企画しました。「節分には、年の数だけ豆を食べることになっています。〇か×か?(答えは年の数+1)」といった節分クイズや、「退治したい自分の中の鬼」と題して「自分はすぐ怠けてしまうので、怠け鬼を退治したい」「よく兄弟げんかをしてしまいます。けんか鬼を退治したい」など、真剣にそしてユーモアを交えて、全員の児童が発表しました。最後は、豆まきをして自分の中の鬼を退治し、1年が幸福でありますようにと願いました。



## 校内点描

生活改善スローガン(別海町立西春別小学校)「早寝早起き朝ごはん、テレビ(ゲーム)をやめて、外遊び。家庭学習(学年×10分)も忘れずに!」

## 新1年生体験入学 2月4日(火)

来年度入学する新1年生向けに体験入学と、保護者向けに学校説明会が行われました。保護者説明会では、西春別小学校の教育活動や、入学までに身につけてほしいこと、「早寝早起き朝ごはん、テレビ(ゲーム)を止めて、外遊び」&学年×10分以上の家庭学習のお願いなど説明やお願いをしました。また、新1年生向けには、名前を書く練習や、折り紙を折ったりしながら、現1年生と一緒に学習をしました。なかなか、1年生は立派なお兄さんお姉さんでした。そして、一生懸命な新1年生でした。



## スノーフェスタ 2/13

「冬の厳しさを、楽しみに変えてしまおう」という趣旨のもと、スノーフェスタ(雪上運動会)を行いました。少し風が冷たい状態でしたが、バイアスロンリレー(人を乗せたソリを引き、途中雪玉を的に当てる競技)、親子宝探し(雪中に隠してある宝を探すリレー競技)、雪上すもう、親子ソリ滑りリレー(親子でそりを持って坂を上り、ソリに乗って降りてくる競技)、親子雪上玉入れなどを行いました。積もった雪の上で行う競技で足を取られてばかり。子ども以上に保護者の方々は体にきつかったようです。子ども達はさすが風の子、歓声を上げながら、存分に楽しみました。最後は、高学年が作った豚汁を保護者の方々と一緒に平らげました。

スケート大会、スノーフェスタで、寒さと氷、そして雪を克服し、来週は総仕上げのグレンデスキーを楽しみます。



## 西春別小学校からの緊急メールサービスについて

悪天候などによる始業時刻の変更など、連絡網の情報を携帯メールにも送信しています。未登録の方は是非ご活用ください。学校のメールアドレス宛に、件名「登録希望」とかい、本文に「お名前」をいただければ登録し、登録し次第返

信メールを送信いたします。学校メールアドレスは下記の通りです。また、学校アドレス等のQRコードも御活用ください。なお、携帯電話のメール受信がパソコンからのメールを拒否する設定になっていることもありますので、ドメイン「b-school.jp」が受信できるようにしてください。なお、その設定については携帯会社や販売店等にご相談ください。学校メールアドレス pnisisyn@b-school.jp

